



「たんす」の引き出し

第6回 小手川 望 さん (NPO 法人 cocoroom スタッフ)

アート NPO として地域の方と表現活動を行っているココルーム (西成区山王1丁目15-11) では、運営資金のために、寄付していただいた物資でバザーを行っています。バザーを継続的に行うことで、これまで拠点を訪れることのなかった地域の人が買い物に来てくれたり、自宅の不要品を定期的に寄付してくれたり(朝、シャッターの前に物が置いてあることもしょっちゅうです)、よく来てくれるおっちゃんたちがバザーの店番してくれたり、と新しい交流が始まっているのが面白かったりします。

バザーに、山ほど品物が届くのはとてもありがたいことです。ですが、男性が圧倒的に多い商店街なので、女性ものは売れ残ってしまうことが多く、掘り出し物があふれています。

お家の整理でものをいただくことが多いので、長らくタンスの引き出しにしまわれていたかもしれない、手編みのセーターやマフラーなどをいただくことがあります。編み込まれた時間や愛情には値段を付けられませんが、バザーでは 200 円~300 円の値段で売られ、おっちゃんたちの冬の寒さを和らげる役に立ってくれていると思います。「たんす」さんが毛糸を集めていると聞いてからは、手編みのものは「たんす」さんに届けています。持ち主の手を離れ、また何かのかたちに生まれ変わることでしょう。

わたしには9歳の娘がいて、学校から帰ってくると一緒にココルームで過ごします。売れ残った女性ものの服の中で気に入ったものをみつけてはファッションショーをしています。この前は魔女のコーディネートをしてスタッフやおっちゃんたちに披露していました。おっちゃんたちの中にも、とってもおしゃれな人もいますし、動物園前駅周辺は実は年季の入った女装達人も多いので、「おっ！」というセンスのお買い物が見られるのも実はとても楽しかったりします。たまに新しいものが入荷すると掘り出し物を見つける常連さんでにぎわっていますので、動物園前にお越しの際は、ちらっとバザーものぞいてみてくださいね。(ついでにココルームにも！)



「たんす」にある桐タンスには、地域の方からいただいた色とりどりの毛糸を収納しています。何かを編んだ残りの毛糸や、編もうと思いつきながらそのままになった毛糸。お家で眠っていたこれらの毛糸玉からも、さまざまな物語が浮かんでくるようです。今回、これらの毛糸を使って人形を編むことをはじめたいと思います。モチーフはニットキャップを被ったメリヤス編の人形[写真]で、北門通りの、あるお宅の玄関に飾られていたものです。すっかり一目惚れして、この人形を、今またいろいろな方と思い思いの色や表情で作りたいと思いました。作った人形は、来年2月に開催する展覧会で紹介したいと考えています。ふるってご参加ください。(呉夏枝)



photo : OH Haji



写真左から3点：北門地蔵 (1 点目は「山王町 20 のお地蔵尊」より / 撮影：木岡一男氏)、4 点目：火除地蔵 (太子町)

山王・飛田・太子の地蔵盆

「たんす」のある山王町にはたくさんのお地蔵さんがいます。平成 16 年に山王女性会が発行した「山王町 20 のお地蔵尊」は、お地蔵さんがこの地域にやって来た由来やそこにまつわるエピソードなどを、写真とともに収録している貴重な冊子です。

8 月の地蔵盆では、各お地蔵さんの世話役となっている方々が、提灯を飾り付けたり、子どもたちに配るお菓子や花火を準備します。子安地蔵のお世話をしている K さんは、今年も 3 日ばかりで準備をされました。

北門地蔵をお世話している A さんは、地蔵盆の朝にお地蔵さんの前掛けと帽子を着せ替えました。40 年来、袋ものの裁縫職人を務めていた A さんはミシンが得意で、北門地蔵の世話役になったのをきっかけに、2 年ほど前からお地蔵さんの着物を手づくりしています。他所のお地蔵さんを観察しては試行錯誤をくり返し、今の型になりました。『こんなお地蔵さんの帽子は他にないで』と近所の方にも喜ばれているそうです。さらに A さんは『この先自分に何があるかわか

らへんから』と、10 年先の分までの着物を 50 着ほど、すでに作り置いておられます。

8 月 23 日の夜は、山王・飛田・太子で行われた地蔵盆にたくさん子どもたちが参加しました。世話役をつとめておられた方々が、だんだんお齡を召されると共に、地蔵盆を行うところが少なくなってきたと言われていたのですが、それでも今年も十数カ所で行われていたのではないのでしょうか。子どもたちはそれらのお地蔵さんを巡ってお参りし、大きな袋いっぱいにもらったお菓子を、サンタクロースみたいに抱えて歩いていました。

この地域で育ち、今は自分の子を連れて参加している方もおられます。『今住んでいる場所にも地蔵盆はあるけど、参加したことがないんです。どこにお地蔵さんがあるかわからないし、それにおばあちゃんと一緒にの方がいいから』とおっしゃっていました。地域の大人たちの、子どもたちへの思いをこめた地蔵盆が世代を越えて伝えられ、そしてこれは今の子どもたちの心にも、家族や地域の大人たちとの思い出や、まちの風景として何年にもわたって残っていくのだろうと思います。(内山幸子)

編む ワークショップ

【ニットキャップ人形編】

同じ目数で糸の色を変えていくシンプルなメリヤス編です。編み物が初めての方、得意でない方もお気軽にご参加ください。

- 第1回：9月28日(土) 13:30-16:00
 - 第2回：10月27日(日) 13:30-16:00 ※いずれか1回のみの参加も可
- 棒針をお持ちの方はご持参ください。(2~8号程度。貸出も可能)。
【お問合せ・申込先】電話 070-5046-8667 / info@breakerproject.net
☆9月26日(木)は山王女性会の方々と同ワークショップを行います。

たんすレター



第6号

いただいた一〇〇着の編み物を引き続きほどこいていきます。また今月からは、第5号で紹介した「ニットキャップ人形」を編むワークショップを開催します。(詳しくは中面をご覧ください)

